

宮西高校同窓会報

発行 愛知県立 一宮西高等学校 同窓会

一層の発展を願って

同窓会長 山内 進



同窓会員の皆様方には、暑さに向かう折から、ますます御健康の事とお喜び申し上げます。今年も昨年に引き続き、同窓会報をお届けする事となりました。同窓会報も第二号となりますと、皆様方に御報告する事が段々増えてきて、スペースの調整に四苦八苦している状況であります。

(ここで参考までに、この会報の編集に当ってみえる当西高同窓職員の方々の御紹介させていただきます。田中博先生(1)、山内清生先生(6)、今枝義光先生(9)、伊藤克也先生(11)、田中雅夫先生(11)、以上の方々です。色々な情報または近況報告等がありましたら、気軽に皆様とどしどしお便りを戴きたいと思っております。)

『二つの終焉』

校長 柘植 敬一郎



全日制の、先生方や在校生諸君には夙(つと)に注意を喚起したことで、本年元旦の毎日新聞第一面の記事は、私には大層なショックでした。どんな記事だったか、ご存知でしょうか。要約すると、「愛知県教育委員会(六十四年度には、学校群制度改廃)を検討。六十二年度中には結論を」という記事でした。

(ここで、例によって甚だ唐突かつ大袈裟なのですが、敗戦という途方もなく高

さて、皆様方は現在それぞれの職場内で、また家庭内等で御活躍の事と思えます。そしてその中でそれぞれの立場において様々なコミュニケーションを計っておられることと思います。さらにそこにもう一つ加えていただきたいのは、同じ西高の卒業生という仲間意識の上に立つてのコミュニケーションであります。その一つがこの同窓会報の重要な役割でもあり、そして御案内の通り八月十八日に開催されます総会に参加し仲間達と旧情を再び深めていただく事も大変有意義な事と考えております。そのような中で会員同志のコミュニケーションの輪を今後さらに広め、お互いの連帯意識をさらに強化し、また互いに切磋琢磨しあう事が、ひいては西高の発展に大いに役立つのではないかと考えております。今後とも皆様方の御指導御協力をお願い致します。

栄光の一つや二つ薄れたって・消えたと、という議論もあって、これまた、当然のこととして、しかし、とにかく、一つの終焉(しゅうえん)を迎えることにはなるのでしょうか。

開けば、制度改廃の理由の大きな一つは、「行きたい高校」へ、制度のゆえにのみ行けないことへの不満解消にある、と

ところで、わが西高が、六十四年以降もこの地の子女にとって、変わらず「行きたい高校」であり続けるためには、恐らく、想像を遙かに超える努力を強いられる、これからの数年でしょう。

そのための新たな胎動は、もう今から始めなければなりません。

母校にまなこを

稲沢東高校長 丹羽和己知



この四月、十年間お世話になりました西高を去りました。思えばこのあいだに三千五百名に余る卒業生を見送ったことになりました。時の流れの速さと、巣立った同窓生の数の多さに、改めて驚かされています。

同窓会も、創立二十周年が契機となつて、その組織も固りつつあり、会報第二号の発刊、誠に喜ばしく思います。

従来も、同窓会は、同期会といった横の繋がりでは開かれていたようですが、が先輩・後輩といった縦に繋がる結びつきは弱いようです。

OB・OGの皆様、どんなお力を藉(か)していただけるでしょうか。

もう一つの終焉(しゅうえん)、六十二年三月一日には、事実上幕を閉じる、わが西高・昼間定時制について触れる紙数が尽きました。感慨なし、と、しませぬ。

ショーペンハウエルが「人生のはじめの四十年は本文であり、あとの三十年は注釈である」と云っています。同窓生の皆様は、目下、人生の本文を綴るに忙しく、同窓会まで意識が働かない時期かと思えます。そもそも、縦の同窓会は、注釈の年齢になって考えることもかも知れません。戦後の教育改革で、旧制中学が高等学校となったところの同窓会は、いま、注釈の年齢を迎えつつある高校の卒業生へと、引継がれているようです。

ご存知のように、昨今、臨教審を始めとして、各種の教育論議が沸騰しています。保守的といわれます教育も、時代の変化に即応できるようにと、変革の時期に差し掛かっていると思われれます。早晩制度的な改革の波に会い、学校の特色・独自性が問われると思われれます。

現在の高校は、地域社会と深い拘わりを持っていて、その協力と支援によって培われて行きます。同窓生の皆様は、注釈の年齢を迎えられたとき、誇れる母校であるように、折にふれ、学校を訪れ、暖かい目で見守って頂きたいと思えます。ご発展をお祈りしています。

総会のお知らせ

同窓会総会を左記の要領で実施いたします。会員各位の御出席をお願いします。

- 日時 八月十八日(日曜日)午後一時より 終了後立食パーティ(会費千円)を準備しております。
- 場所 一宮スポーツ文化センター(真清田神社西)

※ご出席の方のみ、七月末日までに同封の葉書でその旨をお知らせ下さい。